

# 一般社団法人 福岡青年会議所 2020年度やすらぎ荘事業 支援(協力金)のお願い

## ご挨拶 趣旨説明

福岡青年会議所(福岡JC)では1972年以来、社会福祉活動支援として『やすらぎ荘JCキャンプ(福岡JCやすらぎ荘支援事業)』をおこなって参りました。JC三信条のひとつである「地域における奉仕活動」として、長きにわたり福岡JCが積み重ねてきた事業です。本年度も福岡JC若手メンバーを中心に「やすらぎ荘事業支援事業」を下記の内容で実施致します。今年度はコロナ禍の状況を考慮し、施設利用者との交流を避け、例年とは違う手法を用いた奉仕活動をおこないます。趣旨ご理解頂き、本事業実施のための「協力金」をみなさまより賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## やすらぎ荘について

### 社会福祉法人夜須高原福祉村 「やすらぎ荘」

今年で48年目を迎える「やすらぎ荘」は、ご家庭にいる心身障がい児(者)たちが通園で訓練をする施設です。脳性まひ児の機能回復をめざす「動作法訓練」と発達障がい児(自閉症)の療育訓練を大きな柱としています。国民的俳優の故 森繁久彌さんたちが提唱した「あゆみの箱」運動によって建てられ、1972年4月「障がい者の楽園」としてオープン、年間の利用者は平均約6千人で開館以来の総利用者数は45万人にのぼります。現在は、施設の老朽化や来場者数の減少などが課題となっています。

<実は一般の方にも利用可能！>

👍 1泊2日の企業研修    👍 園児お泊り自然保育 など



## 支援活動内容～協力金の使い道～

### 「向こう5年の快適づくり、向こう30年の環境づくり」

#### ① 快適づくり (訓練室の改装)

#### 経年劣化が進む訓練室をリノベーション



施設利用者が主に利用する訓練室の劣化部分を修復し、現状の無機質な空間から温かみのある空間にリフォームすることで、利用者が楽しんで参加できる場所を提供します

#### ② 環境づくり (桜の植樹100本)

#### 人が集まる場所にするため桜を植樹



桜が咲くころには利用者らが桜の下でお花見することができ、多くの利用者にとって行きたい場所、楽しい思い出の場所になってもらえればとの想いを込めます

## やすらぎ荘・所長 西藤史郎氏

48年余、多くの福岡JCのご支援に職員一同感謝申し上げます。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止でやすらぎ荘の事業活動を大きく見直さないといけない状況下で「自室感覚で利用できる研修室の改修」などを企画され、足踏みする企業活動を自ら体験し課題解決に役立てるなど福岡JCの皆様の日々の活動に敬意を表したいと思います。

## 九州大学・教授 遠矢浩一氏

やすらぎ荘においては、九州大学総合臨床心理センターに所属するスーパーバイザーおよびトレーナーによって、臨床動作法という心理学的リハビリテーション方法を用いて脳性麻痺による運動障がい、知的障がい、発達障がい等を伴う方々(トレーニーと呼びます)への支援を行っています。障がい当事者の気持ちを理解し、尊重しながら、リハビリテーションを進めていきます。

## 協力金のお願い

1口 **1,000円**

一般社団法人 福岡青年会議所

お問い合わせ先：研修委員会 副委員長 新谷健一 (080-3709-9609)

協力金支払方法：ご案内をした福岡青年会議所メンバーにお渡しください後日、領収書を発行させていただきます